

令和4年度地域包括支援センター事業計画について

1 「守山いきいきプラン2021」（第8期計画）において目指す地域包括ケアの深化・推進

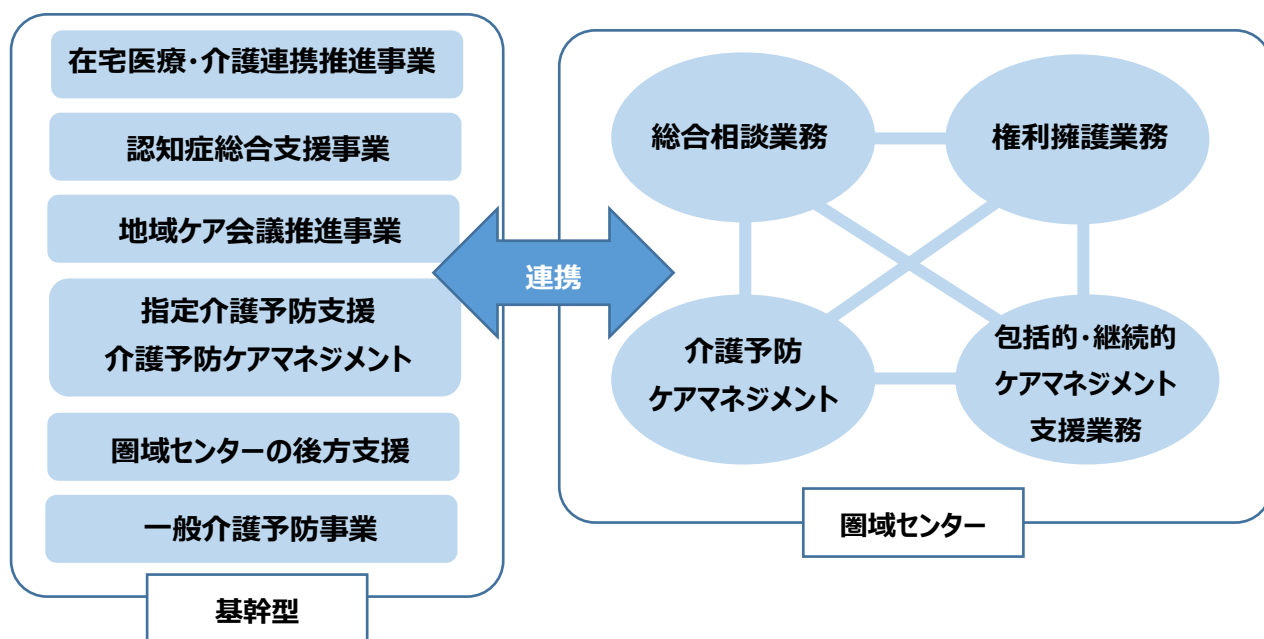
団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据え、高齢者の身近な地域における相談支援体制の充実を図るため、地域包括支援センターの機能強化に取り組んできました。

令和3年4月から南部、中部、北部のすべての日常生活圏域に地域包括支援センターを設置し、基幹型と圏域センターとが連携を図りながら各事業等の推進を図ることで、高齢者の介護予防、健康寿命の延伸に努めています。

【重点取組】（“守山いきいきプラン2021”）

- ◆ 地域に寄り添った地域包括支援センターの機能強化
- ◆ 誰もが参加しやすい介護予防の推進
- ◆ 地域全体で取り組む認知症「共生」・「予防」の推進

2 各事業の推進



3 基幹型の事業計画

(1) 認知症施策の推進

ア 認知症の正しい知識の普及啓発

- ・ 認知症サポーター養成講座の開催
 - 市立全小学校の6年生対象
 - 事業所等での開催促進（SOS ネットワーク協力事業所等への案内）
- ・ 認知症サポーター養成講座（上級編）の実施による地域で見守り・支援ができるサポーターの養成
 - 市立全中学校の2年生対象
 - 地域での開催促進（認知症サポーター養成講座を受講済みの自治会へ案内）

イ 認知症初期集中支援事業

- ・ 定期的な医師による助言・介入による初期集中支援チームの効果的な体制づくり
- ・ 効果的な支援実施のため、アドバイザーからの個別事例等への助言
- ・ 対象者の早期把握・早期支援のための民生委員・児童委員、自治会、介護支援専門員等の地域支援者との連携

ウ 地域での見守りネットワークの推進

- ・ 早期発見につなげるための行方不明高齢者等 SOS ネットワーク協力事業所の拡大
- ・ 行方不明時の早期対応・早期保護のための事前登録事業の推進
- ・ 地域での理解者を増やすための認知症サポーター養成講座、出前講座等の開催

(2) 在宅医療・介護連携の推進

ア 在宅医療・介護および在宅看取りについての市民への普及啓発

- ・ 出前講座（自治会等）、講演会の開催

イ 医療・介護等の多職種による連携強化および知識・技術の習得

- ・ 看取りケア研修会、病院との事例検討会、顔の見える会等の開催

ウ エンディングノートの普及啓発

- ・ 出前講座等による市民への啓発・活用の促進
- ・ 医療・介護等の関係機関への活用の周知

(3) 介護予防事業の推進

ア 介護予防活動の普及啓発

- ・ 地域や自宅で取り組むことができる介護予防活動の普及・啓発
 - 介護予防DVD「もりやまプラス体操」等の活用促進
 - 地域の自主グループ活動の感染症対策等の環境整備への助言等
- ・ 健康のび体操体験会・教室の開催による介護予防への取組推進
- ・ 自主グループ冊子の作成・配布による地域での活動紹介

イ 通いの場における取組の推進と支援

- ・ 地域における住民主体の介護予防活動（自主グループ等）の育成・継続支援
- ・ 支援を必要とする高齢者の把握（体力測定等）、課題に応じた保健指導・生活機能向上への支援
- ・ 高齢者の状態に応じた受診勧奨、医療・介護サービスの利用勧奨

ウ 保健事業と介護予防の一体的な実施

- ・ 75歳以上の後期高齢者に対する保健事業と介護予防の一体的な実施

4 圏域センターの事業計画 別紙1、2、3のとおり